

「唐津が生んだあと二人の建築家パネル展」

明治から大正にかけて、東京駅や日本銀行本店等を設計・建築した辰野金吾を筆頭に、唐津は日本を代表する近代建築家を輩出しています。

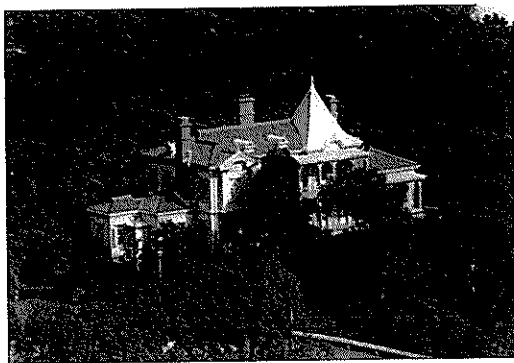
今回は、世界文化遺産登録が決定した三菱長崎造船所の迎賓館「占勝閣」のほか、「慶応大学図書館」、「東京海上ビル新館」、等を設計した「曾禰達蔵」、さらに平成28年5月にG7世界首脳会議会場予定の「志摩観光ホテル」のほか「世界平和記念聖堂」、「宝塚カトリック教会」等を設計した「村野藤吾」の、唐津が生んだ偉大な建築家二人の業績に光を当て、その功績を広く市民の皆様にお知らせするものです。



曾禰 達蔵

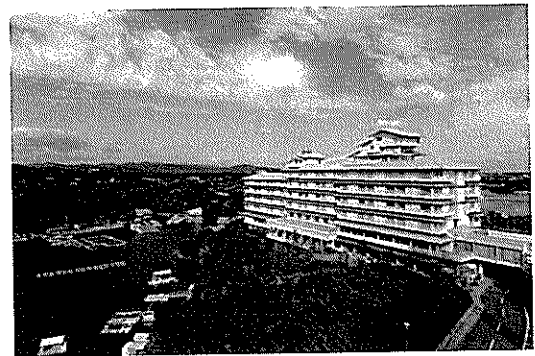


村野 藤吾



占 勝 閣

(写真提供：三菱重工業（株）（非公開施設）)



志摩観光ホテル

(写真提供：志摩観光ホテル)

●日 時 平成27年9月25(金)～12月27日(日) (9:00～18:00)

●会 場 唐津市本町 旧唐津銀行 (当館駐車場をご利用下さい)

●内 容 曾禰・村野両建築家の代表的建築物の写真・資料等を展示します。

●入館料 無 料

●主 催 唐津観光協会 (主管：旧唐津銀行 電話 0955-70-1717)